

石戸谷豊日本弁護士連合会消費者行政一元化推進本部事務局長ご挨拶

- 今はただ、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。
- 日弁連は、20年前から消費者庁を訴えてきました。佐野さんは、主婦連は47年前からと言われるので、それに比べると出遅れてはいますが、それにしてもなかなか実現しませんでした。
- それが、一昨年から急激に動き出し、政治の持っている力はすごいと改めて実感しました。
- 審議は、かたずをのんで見守っていました。審議が進んでいき、参議院で草川委員長が「これにて質疑は終局したものと認めます」との発言があり、各党からの本当に真摯な心のこもった賛成討論をきいて、涙が止まりませんでした。
- これで、いよいよ全党から祝福されて消費者庁・消費者委員会ができるのだと思い、また、今まで押せども引けどもびくともしなかったことを思い返し、本当にうれしかったのです。
- その日の夜の会合で、ある人から「石戸谷先生は、審議の途中からずっと泣いていましたよ。私ももらい泣きしてしまいました。」と言われました。最後の審議の際は、みんなそういう状態でした。
- また、本当にうれしくて、全国に『涙の全会一致』というメールを流しました。連日、全国からおめでとうメールが飛び交いました。
- 今後は、これを「宝物」にして、さらに進んで行きたいと思います。ありがとうございました。